がんサバイバーによる

出張講座

あなたの会社でも実施してみませんか？意識が変わります!!

2人に1人ががんになる現代。がん対策の要は「がんを知る」ことです。

企業はがんに罹患（りかん）した従業員に何が出来るのか?など
がんを経験した当事者だから話せる治療や仕事の両立などリアルな声を貴社向けに講演いたします。

ご希望に応じて、講演内容・講師をコーディネートいたします

■参加人数によって、開催形式等をご相談させていただくことがございます。
■できるだけ地元の講師をご紹介いたします。
■登壇時間の短縮・延長につきましては事務局までご相談ください。
※登壇時間が延長となった場合、30分あたり7,500円の追加費用が発生いたします。

講師謝金（講演・質疑応答:60分）｜ **15,000円**（税別） ＋ **交通費**

オンラインによる講座も承ります

企業アクション認定講師※のプロフィール（19人）

顔写真	講師名	罹患（りかん）がん種別	現地開催時の訪問可能エリア ※不可の場合あり、確認のうえ決定	罹患（りかん）がん経過など
	池田 久美	胃がん	京阪神エリア	2014年に人間ドックで胃がんが見つかり、胃の3分の2を切除する。翌年に職場復帰。定年退職し、現在は京都市立中学校に観察実験アシスタントとして勤務。2005年に47歳の夫をすい臓がんで亡くす。
	石山 美行	乳がん	全国	2016年に人間ドックオールAで乳がん罹患（りかん）と同時にリンパ説にも転移。休職せず、治療を続ける。現在も治療中。国立がん研究センター推奨のがん罹患後の運動（HITなど）をサポートする一般社団法人を仲間と運営。LINEヤフー社内がん患者会を立ち上げた。
	風間 沙織	乳がん	神奈川県・東京都	2014年に乳がん罹患（りかん）。左乳房全摘再建後抗がん剤治療、7年間のホルモン治療を終え、現在は経過観察中。会社の制度を活用し、がん治療と仕事を両立させる。乳がん体験者コーディネーター11期生。大手人材派遣会社勤務。
	河野 美和	乳がん	東京都近郊、福岡県近郊	2017年冬、乳がんと診断される。トリプルネガティブタイプ、抗がん剤治療開始、年末に緊急手術左胸全摘出。現在は経過観察中。キャリアカウンセラー・留学カウンセラー・フリーアナウンサーとして活動中。
	川畑 英美	左肺腺がん	大阪府	2008年職場の検診で左肺腺癌が見つかり、左肺下葉切除とリンパ節郭清（かくせい）を行った経験を持つ。居宅介護支援事業所にて管理者として、高齢者や障がい者の在宅生活支援、がん未期の方の在宅生活や看取り支援に携わっている。
	昆 広海	乳がん	東京都	30歳での出産後、子供が0歳の時に職場復帰し、その翌月にしこりを見つけ、乳がんが判明。抗がん剤治療の後、左乳房を全摘出。現在は定期健診の通院をするのみで、治療前と同様に会社員として勤務。

裏面もご覧ください

※認定講師とは…がん対策推進企業アクションに所属し、講師を務めるがん経験者です

顔写真	講師名	罹患(りかん)がん種別	現地開催時の訪問可能エリア ※不可の場合あり、確認のうえ決定	罹患(りかん)がん経過など
	鈴木 信行	精巣がん、甲状腺がん	全国	20歳で精巣腫瘍に罹患(りかん)し、1回手術と3か月抗がん剤治療を受ける。24歳で再発し、2回の手術と8か月抗がん剤治療を受け、現在は寛解。46歳で甲状腺がんに罹患。手術と放射線療法を受け、現在フォロー中。2013年より良い医療環境を実現させる団体「患医ねっと」を設立、代表に就任。
	中 美佳	乳がん	京阪神エリア	2012年マンモグラフィ検査で異常が見つかり、右乳がんの告知を受ける。半年間の術前化学療法を受け、2013年に右乳房全体を切除。その後、約1年間の分子標的薬の点滴をし、約10年間のホルモン療法が終了。2016年に保育教諭として仕事復帰。
	花木 裕介	中咽頭がん	千葉県・東京都	2017年に中咽頭がん告知を受け、標準治療(抗がん剤、放射線)を開始。2018年に病巣が画像上消滅し、復職。産業カウンセラーとしても活躍中。
	松本 眞由美	膵臓がん	全国	2013年に膵臓がんが見つかり、術前化学療法後、手術を受ける。術後化学療法後、経過観察。2019年に残った膵臓に、のう胞ができ、現在はがんに移行しないか経過監査中。パンキャンジャパンにて膵臓がんの患者支援をしている。
	和田 智子	上皮内がん	全国	2011年に子宮頸がん検診で要精密検査となり、円錐切除術を受ける。長女を小児がんで、夫を肝臓がんで亡くし、自家移植や自宅看取りの中で、がん闘病ケアの重みを知る。現在は大学生にがん啓発講演を展開。
	藤原 裕子	乳がん	全国	2017年9月、入浴中に自分で胸にシコリを見つけ、乳がんと同時に脇リンパ節への転移が発覚し、ステージⅢAと告知される。以降、SNSにて検査やがん告知、治療などについて適時発信していく。温存手術と放射線治療を経て、ホルモン治療を続けるが、2022年に脇リンパ節に再発。手術後は経過観察中。2024年度より、東京都のある自治体の小中学校にて実施している、がん教育の講師として活動を始める。授業で子どもたちに「命の大切さとがん検診は何故必要なのか」を実体験を交えて分かりやすく伝えている。
	原 利彦	中咽頭がん、甲状腺がん	全国	45歳で耳の後ろにできたシコリを検査し、中咽頭がんと甲状腺がんの転移と発覚。いずれもステージⅣ。放置すると余命半年と告知される。約半年間休職し、手術、放射線、抗がん剤治療を経て完解。現在は映像制作会社の正社員として復職し、経過観察中。
	久家 麻美	子宮頸がん	全国	2018年子宮頸がん検診受診し、ステージIB2期の子宮頸がん腺腫の診断となる。子宮・卵巣全摘、骨盤内リンパ郭清し、抗がん剤治療はせずに治療終了。現在は再発なく5年経過。健診機関にて健診後の保健指導やがん啓発活動に関わっている。すい臓がん患者遺族。
	阿南 里恵	子宮頸がん	京阪神エリア	23歳で子宮頸がんⅡB期に罹患(りかん)。抗がん剤、子宮全摘出術、放射線治療を受ける。再発や転移はなく経過観察を終了したが、治療から10年経過した頃に両下肢がむくむ後遺症「リンパ浮腫」が悪化。現在もリンパ浮腫のケアをしながら仕事を続けている。2013年厚生労働省がん対策推進協議会委員。
	益満 秀一	前立腺がん	東京都・関東近郊	2023年に前立腺がんと診断される。主治医からは手術を勧められたが、治療法の選択肢が数多くあることからセカンドオピニオンなどで情報収集。自身のQOLを重視し、放射線治療を受ける。治療と仕事の両立を果たし、現在仕事への影響もほぼなく治療前と同じ企業に勤務。ヘルスケアやリテラシー向上のための研修コンテンツや動画制作も行っている。
	大西 幸子	乳がん	全国	2015年に職場の健康診断にて乳房超音波検査・触診検査で異常が見つかり、マンモグラフィなど精密検査の結果、乳がんと診断。右乳房全摘手術とホルモン剤投薬を開始し、2か月の休養の末、職場復帰を果たす。2020年にホルモン剤投薬を中止し、PET-CT検査で再発、転移なしと診断。その後、経過観察中。現在も治療前と同じ企業にて勤務している。
	安部 文子	乳がん、大腸がん	全国	2018年に健康診断で乳がんの診断を受け、手術・放射線治療の後、ホルモン治療を継続中。2023年にも健康診断で大腸がんの診断を受けて手術。現在は罹患前と同じ企業で勤務を続けながら、群馬県がんピアサポーターの活動や、社内では女性活躍推進チームリーダーとして自身の経験を公表し、がん検診推進などの啓蒙を行っている。
	小林 多賀子	卵巣がん、子宮体がん	全国	2024年夏、自分で卵巣の違和感を感じて病院を受診したところ、卵巣がん・子宮体がんの重複がんと診断。抗がん剤治療はしておらず、3か月に1度の経過観察を続けている。半年間の休職期間を経て、2025年から仕事復帰。現在はがんが再発しないよう、食事・運動・睡眠・メンタルに気を付けて仕事をしながら、生活をしている。

オンラインでの実施であれば、記載地域に限らず実施可能でございますので、オンラインもぜひご検討ください。

お問い合わせ・お申込み **がん対策推進企業アクション事務局**

TEL 03-6281-9094

E-mail gantaisaku-info@winwin-ad.com

公式HP https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/

ひと、くらし、みらいのために 厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

がん対策推進企業アクション